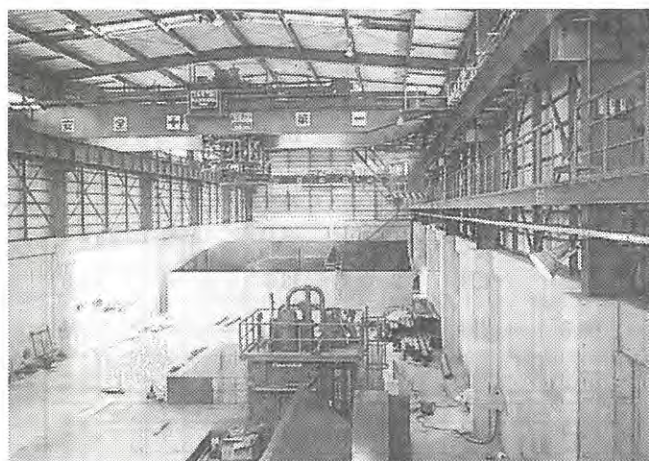


に新ヤード開設一般ヘビー・ステンレス 扱いいにも進出する

11月4日から営業を開始する

大阪故鉄株式会社（矢追徹夫社長 従業員30名）が集荷・持込み業者の荷受け、荷捌きを最優先する新ヤードを建設した。同社は大阪を代表するビッグ業者として全国に知られる。また、その堅実で手固く、石橋を叩いても、なお遠回りする目配りの深さは良くも悪くも「大阪の商売人」のひとつの典型と目されている。その大阪故鉄が、大阪生駒線沿いの4600㎡の敷地に1250トンギロチン（高速型）をもつ諸福営業所を開設した。住之江区にある本社工場や

今回、この諸福営業所の立ち上がりとともに閉鎖する深江工場とも、どちらかと言えば交通の便はめぐまれない。それでも老舗の代納出荷力と建屋・プラント解体など抜群の手足の長さを誇る機動力で月間2万トンはかるく扱ってきた。その実力業者が居飛車のすこみをさらりと捨て幹線道路沿いに、客を呼びとめる「外食産業」的発想のもと、かろやかに「皆様の大阪故鉄」としてアピールする新時代に乗りだした。石橋を叩いた後は脱兎の如くだ。



諸福工場。ギロチンの向うに見えるのが鋼鉄製ピット（18×11m）

新ヤードは大阪生駒線と近畿自動車道がクロスする大東市諸福にオープンした。営業開始は11月4日を予定している。敷地面積は4600㎡。本社工場の4000㎡を上回るとともに深江の旧ヤードの4倍の広さを確保した。営業開始は11月4日を予定している。敷地面積は4600㎡。本社工場の4000㎡を上回るとともに深江の旧ヤードの4倍の広さを確保した。



大阪故鉄 矢追徹夫社長（日本鉄リサイクル工業会・関西副支部長）

工場奥、右側にギロチン。左側に大型プレスを配置し、中央にはギロチン加工後の受け皿として鋼鉄製ピットを据えた。工場はこのギロチンピットを背にしたプレス場と同ピットが向いあうギロチン場とに区画して操業することになる。

このピットは幅18m、奥行き11m。高さは低い方が3・5m、最高が5mの台形。18m幅を3分割してグレードごとにHS級、H1級、その他と整然と分別・収納する。スクラップはハンドメイドの製品ではないが、いったんヤードをくぐったモノはメーカーの原料となる成品である。大阪故鉄は成品管理・品質管理には「新断プレスの昔から、徹底的にかかわる。

環境・周辺対策は万全

生源となるギロチンなど機械下には直径60cmのコンクリートパイプを10数本打ちこんだ。また、1400㎡の敷地には2000㎡以上（うち腰壁500㎡）の大量のコンクリート

のクレームもこないよう万全の備えをほどこした。隣地の境界から3m下げて建屋をたて、この幅はオープンスペースとして残した。「下げるのもつき合い。いわば誠意で

インを同時に4基走らせてもピクリともしない設計強度とした。そのため基礎工事、土間打ちには鋼材・費用とも惜しまなかった。工場の基礎や震動の発生

リートを流し込んだ。建屋も分厚い鉄骨コンクリート（高さ6m×厚さ30cm）で囲った。壁面はむき出しとせず遮音材を貼りつけた。素通しの天井裏には吸音材の吹きつけた。とにかく防震、防音には近隣から一言のクレームもこないよう万全の備えをほどこした。隣地の境界から3m下げて建屋をたて、この幅はオープンスペースとして残した。「下げるのもつき合い。いわば誠意で



騒音対策のため隣接地から3m下げた

大阪故鉄株式会社

本店 大阪市浪速区桜川2丁目12番19号
代表取締役社長 矢追徹夫
代表取締役 矢追徹夫
営業種目 鉄スクラップ加工販売/鋼材販売/建屋・機械設備解体工事/コンピュータソフトウェア販売/廃棄物再生事業/産業廃棄物収集・運搬
免許許可 金属くず業 一般建設業 廃棄物再生事業 計量証明事業
直納メーカー 住友金属工業/住友電気工業/臨港製鉄
商社 住友商事/三菱商事/神鋼商事

本社・工場

大阪市住之江区平林北1-2-22	開設	1971年6月
Tel 06-681-5761	敷地	3,960㎡
	建屋	2,970㎡
	処理設備	1,250tギロチン 1基 800tギロチン 1基 250t油圧プレス 1基
	台 貫	80tトラックスケール 1台

諸福営業所

大阪府大東市諸福7-4-38	開設	1998年11月
Tel 0720-74-9861	敷地	約4,600㎡
	建屋・工場	1,650㎡
	屋外ヤード	1,300㎡
	処理設備	1,250tギロチン（高速型） 1基 300t油圧プレス 1基 作業用重機（日立建機EX-210） 1基
	台 貫	80tトラックスケール(15m) 1台

鉄リサイクル作業の効率を快適にアップするマシンをラインナップ。



- リフティングマグネット仕様機
- 自動車解体機
- ハイキャブ仕様機
- フォークショベル
- スクラップ処理仕様機
- フォークグラップル etc

日立建機株式会社

関西支社
京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字岸畑22
TEL.075-956-2111 FAX.075-956-3191
大東支店
大東市新田北町5-25
TEL.0720-73-5461 FAX.0720-73-6645

製鋼原料処理設備のトップメーカー

- 主要営業品目
スクラップシャー、フジ・マウントシャー
スクラップペーラー
シュレディングプラント
移動式廃車プレス車
産業廃棄物処理システム一般
フジ・マルチカッター



富士車輛株式会社

営業本部（東京）TEL(03)3252-5701
営業本部（大阪）TEL(06)212-1911
営業所 仙台、横浜、名古屋、滋賀、広島、福岡、沖縄

クレーン設計・製作・修理
改造
クレーン定期・保守・点検

カシハラ鐵構株式会社

クレーン事業部

大阪府高石市高砂3丁目58番地
電話 0722-68-0488(代)
FAX 0722-68-0550

本社 大阪市大正区南恩加島5-8-48
電話 06-551-4334(代)
FAX 06-551-1187

大阪故鉄、諸福

ステン、アルミも

ギロチンは富士車輛製1250トン高速型を入れた。同タイプは関東と中部地区に各1台あるが西日本では初となる。従来型は75kwのポンプが4台、400馬力。高速型は90kwが6台、720馬力と、パワーは80%もアップした。切断ストロークは1分間4回とまさに高速そのもの。同時に横押し、押しフタ角度とも従来型より圧縮比が高い「深入り」型とした。カサ高かな下級スクラップ材を圧縮・切断するには、時として横押し、押さえを繰返す必要もでてくるが、「深入り」型はこの反復ロスを省く。下級材処理にも威力を発揮する。

新断やダライ粉の処理用には同じ富士車輛の300トン油圧プレス機を据えた。

大阪故鉄はこの工場建

阪奈道から見た大阪故鉄・諸福営業所。ここにやがて電光広告塔も建つ



クレーンの設計・施工では定評のあるカシハラ鉄構製の7.5t・ダブルクレーン



出番を待つ日立建機のEX-210

屋のとなりと同型(スパン幅20m、クレイン下12m)建屋の建設も計画している。このため今回の第1工場の建設、基礎工事とあわせて、将来の第2工場用の基礎工事も同時に進め、埋め戻した。ここを「屋外ヤード」と呼び、長尺材のガス切りや、本社工場や旧深江工場では思いうまかせなかつたステンレスやアルミスクラップの選別、加工場としてフルに使う。

この屋外作業用の専用重機として日立建機のEX-210を導入した。

大阪故鉄はこの諸福営業所と入れ替えるかたちで深江工場を閉鎖する。深江工場では200トン油圧プレス機2基で月間約3千トン扱ってきた。諸福営業所はこの深江工場の扱いを引き継ぎ、さらに深江工場には入ってこなかったギロチン材やステンレス、アルミをガッチリと受けとめることとなる。

新ヤード建設は2〜3年前から急がれていた。これは旧深江工場が建設

新時代を先取り

この狭い旧深江工場のヤード制約の打開を足元の理由とすれば、今ひと

誰でも立ち寄れるお店です

れこそナイナイづくし。新立地への移転は待ったなしの状況にあった。

つはもつと目線をあげた狙い——つまり、リサイクルが社会・経済活動の前面にでてくる21世紀型を、いち早く取り込んだヤードを作る。集荷ネットの構築を目指す——との経営戦略を着々とねり

いえども、居飛車のすぐみだけでは世間からは取りこされる。

時代の一步先を読む。かつて大阪故鉄はその読みで昭和23年には住友金属工業の直納指定商として今日の地歩を固めた。

平林に本社工場を移転した昭和46年以降は、高度経済成長にともなうスクラップ・アンド・ビルドの建替えラッシュのなか、同業他社に先んじて建屋・プラント解体分野に進出し、その統括指揮、作業・実務能力、扱量の高さは業界でも群を抜く。

その大阪故鉄が幹線道路沿いに進出した。しかも、発光ダイオードを使った「電光掲示板」付きの広告塔をヤード入口横に建てるという。スクラップ業者も外食産業並みに表通りで客を呼び込む——それが違和感なく溶けこむ時代になった。

だから若い女性スタッフも採用したい。ヤードの遊撃手として構内の車両誘導や場内整理にうるおいをもたせたい——とのアイデアも浮かんでくるわけだ。

あげていた、ということもある。

21世紀は大手高炉からお百姓さんまで、おそろくありとあらゆる分野がリサイクルに係ってくる時代となる筈だ。で、あれば、実力・老舗業者と

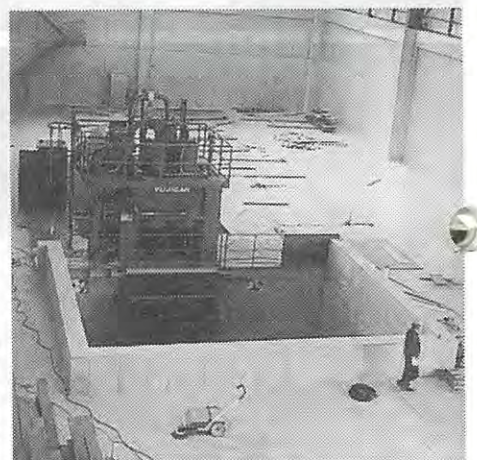
大阪故鉄の月間扱量は大規模解体工事の有無によつて1万トン前後はバラつくが、工事分を差し引いたとして、コンスタントに2万トン(代納分を含む)前後はこなす。直納は住友金属、住友電工それに臨港製鉄。この他、住友商事、三菱商事など大手商社を通じて電炉各社に出荷する。

最近手がけた解体工事は中部電力・新名古屋発電所、ユニバーサル・ジャパン関連の大阪ガス、日立造船、住友金属などの撤去・解体などで数万吨の物件が目白押し。

その実力業者が、鉄は勿論、ステンレスからアルミまで一見客の呼び込みをはじめ——時代は変わる。新しい挑戦だ。



諸福営業所・新事務所。この事務所前15m長のトレーラー・スケールが持込み業者を待つ



富士車輛の1,250t・ギロチン・1分間に4回転。西日本初の本格・高速型ギロチン

メタルリサイクラー OSAKA KOTETSU

鉄リサイクルの近代化・円滑化、さらなる未来へ。

11月4日(水)大東市諸福に新工場 OPEN

